

稲城市体協だより

発行 稲城市体育協会
 電話 042(378)2111
 内線 (642)
 編集 稲城市体育協会
 広報委員
 発行 平成17年12月1日
 年月日 第 40 号



▲ 評議員会

平成十七年度 稲城市体育協会 評議員会開催

稲城市体育協会の平成十七年度評議員会が四月二十二日、消防署講堂において開催されました。

福島会長の挨拶に続き、十六年度事業経過報告、会計及び監査報告が行われ、さらに役員改選(案)、十七年度事業計画(案)、収支予算(案)が審議、承認されました。

平成十七年度～十八年度 稲城市体育協会役員選出

- 会長 福島 佐一
 副会長 大河原 克己
 副会長 志村 寛
 監事 志村 清三
 監事 堀 武子

「よろこび」

東京都教育委員会 体育功労者表彰



齋藤 博さん
 (バドミントン)

齋藤さんは、バドミントン連盟の役員のかたわら稲城市協会の理事、常任理事を歴任し現在は副理事長に就任し若手幹部として活躍中です。これ迄に多くの小中学生がバドミントンの指導を受けております。都民体育大会バドミントン競技を平成11年度から主管し、また今年度は国民体育大会関東ブロック大会、市町村総合体育大会を稲城市総合体育館で行うなど大会運営に對する貢献は顕著といえます。

団体受賞

東京都教育委員会 社会体育優良団体表彰

稲城市卓球連盟

昭和41年に結成され43年の体育協会設立と同時に加盟しました。以来市民に中広く生涯スポーツの場を提供し、卓球教室には小学生から高齢者まで多くの愛好者が毎年定員を上回る応募をしています。



東京都体育協会 体育功労者表彰



池水和田己さん
 (バドミントン)

池水さんは会長推薦理事として平成4年より活躍し現在は副理事長及び広報委員長として、体育協会に貢献している。また3月までは市の社会教育委員としても活躍され、市民憲章推進協議会の理事も勤められている。

東京都市町村体育協会連合会 功労表彰



小池房子さん
 (剣道)

小池さんは昭和47年の稲城市少年剣道クラブ創設にも貢献し以来、剣道連盟理事の役職を経験され、また平成9年に稲城市女子剣道会も創設され剣道四段の取得と共に女性剣士の育成、拡充に尽力されています。

東京都体育協会 体育優良団体表彰

稲城市テニス連盟

連盟結成から30年、構成団体は18を数え、216名の人員より成っています。子供ミニテニス教室、初心者教室の成果も大きく、市民大会参加者も500人

に近づくなど、市民のスポーツ教育に大きな貢献をしております。

稲城市一般表彰

南 彰さん
 (バドミントン)

南さんは永年バドミントン連盟の幹部役員として活躍され、体協理事、広報委員長として体協の運営に多大の貢献をされています。またバドミントン教室では多くの参加者が指導を受けました。

稲城市体育協会 一般表彰

- 軟式野球連盟
 吉野 幸男さん
 ソフトテニス連盟
 吉川 司さん
 剣道連盟
 江川 克弘さん
 テニス連盟
 房前 博人さん
 ソフトボール連盟
 桜井 茂昭さん

第10回シニア健康スポーツフェスティバル TOKYO'05

全国大会予選東京大会 稲城選抜は準優勝の栄光に輝く。(銀メダルが各選手に授与)
 第2回から参加しベスト8を経て、今回準優勝に輝き18年度全国ネンリンピックの出場権を獲得、全選手が一丸となって頑張った結果の東京代表。(参加30チーム)
 参加資格 59才以上(S.22.4.1以前生れ)
 主催 財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団 主管 東京都ソフトボール協会



皆さんの頑張り「すごい!!」

岡山団体に参加して

稲城市体育協会
 会長 福島 佐一

去る10月22日第60回国民体育大会が岡山県陸上競技場において天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ盛大に開催されました。私も東京都選手団の役員の一員として参加いたしました。私達は東京代表選手との激励に毎日各会場に行きましたが、宿の倉敷から車で2時間余り掛かる会場もあり、県下の広さに驚きました。また、それぞれの競技において、県民の皆さんの熱心な応援も印象に残りました。スポーツは人々に夢と感動を与え、心身の健全な発達に大きく寄与するものであることを強く感じました。岡山での団体は昭和37年の第17回大会以来実に43年ぶりの開催です。時代の要請に応えた新しい団体を目指し、岡山らしさが随所にみられ素晴らしい大会でした。成績は岡山県が男女共優勝で、東京は共に第二位でした。これから8年後の東京大会に向かっていろいろな面で多くの方々の協力と、私たちのさらなる努力の必要を強く感じた次第です。滞在1週間でしたが多くの方々とのふれあいは私にとり、意義ある大会参加でした。

連盟あれこれ

ソフトボール連盟

南多摩五市大会

壮年の部優勝

(若葉台壮年)

七月に多摩市主管で行なわれた第二十六回南多摩五市親善ソフトボール大会壮年の部において、稲城市代表としては約二十年ぶりの優勝を果たしました。

我がチームは新しい町「若葉台」の二チームの四十才以上の有志による混成チームで、メンバー全員が若葉台に居住しています。

発足当時は二シーズン連続で同一相手に一回戦で敗れ、混成チームの宿命かと思いましたが、三シーズン目となる昨春に一回戦を突破するとチームのまとまりも上向いたようで、見事準優勝しました。そして優勝チームの代りに出場した昨夏の五市大会において準優勝となりました。

これでメンバーが自信を持ったのでしようか、昨秋から今春にかけて連戦連勝で今夏の五市大会と壮年東京都大会に出場する権利を得ました。五市大会の前は六月に行なわれた都大会においては、準決勝で惜敗しましたが、七月に行なわれた五市大会では昨年の決勝で惜敗した日野市代表チームに対し、序盤の六点半差を逆転し八対六で準決勝にて下しました。決勝戦も先制こそされましたが、あっさり逆転して最後はコールド勝ちで優勝となりました。今秋の大会も来年の都大会出場と五市大会の連覇を目標に、平均年齢四十代前半の若さと五十代のしぶとさを融合させ戦っていかねばと思つてい

ます。(岸田)



▲若葉台壮年優勝チーム

剣道連盟

稲城第六中学校剣道部

2005年夏輝かしき活躍

若葉台地区の街開きと同時に開校した稲城第六中学校は、開校時から武道場の設備を持ち、赴任してきた長田克巳先生を顧問に剣道部を創設し、活動しています。

剣道部の活動を開始してすぐ、稲城市剣道連盟の加盟団体となり、春のスポーツ大会・秋の市民大会と、男女の中学生の部で活動しています。剣道錬士六段の実力と指導力をそなえた長田先生の熱心な指導の基に、剣道部の目標である「正しい剣道」を目指して毎日の稽古に励み、現在の剣道部員は全校生徒の1/6に達する44名の大所帯となっております。部員達は年々と実力を付け、中体連地区大会では常時上位入賞、都大会でもベスト8に上がるなど活躍してきました。

この2005年夏の7月25・26日に東京武道館で全国・関東大会東京都予選が行われました。東京都は全国の中でもとてもレベルが高いのですが、選手達は日頃の努力もさることながら、平素の技を100パーセント以上出し切り、団体戦では各地区大会を勝ち抜いてきた男子12校・女子80校の中で男女共にみごと3位となりました。更に男子個人戦

では平田圭選手が各地区代表の128名の中、準優勝の素晴らしい成績を挙げました。

団体男女チーム揃って関東大会へ、そして全国中体連剣道大会個人戦へ出場の偉業は稲城市剣道連盟では初めてのことで、この輝かしい活躍に敬意を表します。

稲城市では剣道部があるのは第六中学校だけです。小学生剣士達は活躍する先輩剣士にあげられ、これからの多摩地区の雄として剣道の活動に精進され、ますますの発展と「正しい剣道」の率先をお願いします。

六中剣道部の皆さんおめでとうございませう。(佐藤)



第30回 関東中学校剣道大会

第六中学校の皆さん

ソフトテニス連盟

稲城市ソフトテニス連盟の今昔と活動紹介

ソフトテニス連盟は戦式庭球と言っていた時代の昭和43年に創立しました。5年後には大丸公園にテニスコートが2面完成し、体育課が開講した初心者講習会で、ママさんの団体がいくなか誕生し、連盟登録者は現在の3倍近くの200名を優に越えるほどでした。今では一般の部は2面のコートでゆうゆう消化出

来てしまう参加数でさびしい限りです。

連盟ではこうした状況に危機感を募らせ、数年前から熱心にジュニアの育成に力を注いできました。その成果がめきめき表れ、16年度に初めて東京都のジュニア大会で優勝し、全国大会や関東大会にも出場しました。

こうした活動に呼応して、朗報が入りました。稲城市体育協会から青少年団体育成事業として認められ、補助金の交付を受けられることになったのです。

いよいよ熱が入り、今年も昨年以上に上部大会で素晴らしい成果を上げました。

3月に行われた全国小学生大会の個人戦で5年生女子が東京都代表として出場し、ベスト32位になりました。

5月の東京都研修大会では、男子5・6年生の部で6年生ペアが優勝、同女子の部で6年生ペアが4位、男子4年生以下の部で準優勝、同女子の部で優勝、準優勝、第三位と上位を独占しました。

関東大会の個人戦でも女子4年生以下の部で優勝するなど14名のジュニアが東京都代表として出場し、好成績を残しました。

7月には全日本小学生選手権に東京都代表として出場し、6年生女子がベスト64になりました。庄巻は8月に開催された全日本ジュニア大会団体戦で、女子4年生以下の部で惜しくも決勝で敗れましたが、堂々の準優勝に輝きました。

一方中学校はソフトテニス部があるのは第3中学校のみで、駒沢学園も含めて、たった2校です。折角ジュニアで活動しても、その受け皿になる中学校が無いことで、ソフトテニスから離れていってしまうジュニアがいます。整備された中学校のテニスコートも使われない状況で、是非ジュニアの活動に開放していただきたいと思つています。中学校のクラブ活動にも連盟から指導者を派遣し、ソフトテニスを媒体として教育の一助に貢献できればとも考えております。さて、ジュニア担当理事として中心的に指導しているのが、花園智弘さん、奥さんの安紀さんです。智弘さんはジュニアの活動成果を評価されて、昨年と今年、東京都のジュニア代表の監督になりました。安紀さんは今年の関東ブロック大会東京都代表として出場し準優勝となりました。また10月に行われた岡山団体に出場し3位入賞しました。



▼菅平スキー場にて

スキー連盟

スキー連盟の活動について

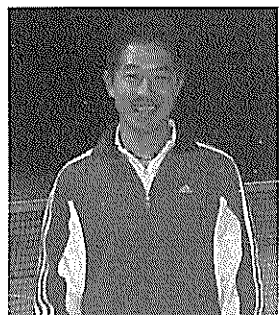
現在の体制になってあつたという間に四半世紀が過ぎてしまいました。今では体協として小粒な団体ですが、地域のウインタースポーツ振興の一翼を担い、元気に活動を続けています。本年の第37回市民体育大会においても、最終日程の平成一八年一月に菅平高原スキー場にて、スキー競技大会を実施します。

「楽しみながらレベルアップ」という事で、スキー教室と組み合わせて底辺の拡大を目指し、募集を進めているところです。ゲレンデに中高年層の姿を多く見かけるようになりました。寒風吹きすさび、身も心も縮みがちな季節にスポーツをする爽快感。上達するにつれ体力が効率的に使われ、楽に滑れるスキーの特質などが、生涯スポーツに相応しいと思われまます。スキーの人氣が徐々に回復しているなかで、青少年層を主体としながらもこうした中高年層の復活も取り込みながら、幅広い活動を進めていきたいと考えています。

一人が一つ以上のスポーツを楽しむながら、心身ともに健康な日常を過ごされるよう願うものです。(阿部)

テニス連盟

全日本ランキングに載る稲城市テニス連盟



▶太田茂晴さん

稲城市テニス連盟(佐野芳則理事長)は、今や、全国のテニスプレーヤーに知られている。「本当に?」と思う人が多いかもしれないが、事実なのだ。どうして多摩地区の一テニス連盟が、全国に、その名を知られているのか。それは確認してもらえばわかる。日本テニス協会がホームページで発表している全日本ランキング表に、稲城市テニス連盟が掲載されているからだ。そのランキング表の、男子35歳以上の部に太田茂晴という名前がある。その彼の所属は、稲城市テニス連盟だ。

太田君は昨年、所属を稲城市テニス連盟とし、各地のトーナメントで勝利している。ちなみに昨年の東京オープンテニストーナメント35歳以上でシングル準優勝、ダブルス優勝。今年も同オープンでシングル準優勝、ダブルスベスト4の成績だった。昨年のベストランキングは全日本35歳以上のダブルスで11位、シングルスで11位。今年も同シングルで10位、ダブルスで11位にランクアップされていた。

彼は、東京都生まれで、テニスを始めたのは高校から。大学時代は同好会、卒業後テニスクラブでのコーチを経て、現在はサラリーマン。4年程前に多摩市から稲城市に引っ越してきた。

(2面より)

練習は、土日曜日の一般市民クラブと、火曜日のナイター自主練習だけだ。

他のランキング者は、いずれの人もコーチもしくは若い頃からトーナメントを回っている人ばかり。そんな中で、この素晴らしい成績を残すのだから凄いとしか言いようがない。(宮本)

●空手道連盟

○公式大会結果

東京都大会(個人戦)で健闘の選手達

○熾烈な闘い、小中学生大会
都小学生大会は、本年度から出場者も激増したので、中学生大会とは分離し、予選と本戦が一日で行れた。

6月5日東京武道館では、形競技1152名、組手競技1326名、計2478名の選手が一堂に会し、レベルの高い競技が展開された。当市からは形・組手、それぞれ15名の選手が出場し健闘したが、結果は次の通り。(種目・出場者数)

6年生男子形 (138名) 森慎太郎選手(平尾在住) 敢闘賞、4年生女子形 (60名) 高橋美愛奈選手(市外在住) 第3位 2名が入賞した。

○中学生大会は選手権と同日で予選は6月26日に行れた。

出場者数は形368名、組手442名、計810名で、当市からは形10名、組手7名の計17名が出場し健闘したが及ばず、2〜3回戦までに全員姿を消した。勝てない原因は、一言で云えば、練習不足にあり、小学生時代に順調に育った選手達も、中学生になると、部活に追われ練習回数が極端に少くなる傾向がある。この町では特に父母は、部活をやらないうと、高校進学時に、内申書の評価が悪くなると信じて、選手達に練習を、す、めない。社会体育を部活に準じ

て、評価する途があればと思考する。

○東京都選手権大会

この大会の選手は、名実ともに、東京都を代表する、若手の指導者と選手であり、入賞者の中から何名かを指名し、週一回の強化練習が課せられ、団体をはじめとした、東京都の選手団が結成される。当市からは、連盟の指導者6名と、高校生6名が出場した。

副理事長の内田四段は、一歩及ばず、予選の決勝で形、組手とも敗退したが、形では本年の団体出場が決定している選手と対戦し、見劣りのしない演武を堂々と行い、成長を感じさせた。藤原参段は、形は予選決勝で惜敗したが、組手は中量級で予選を通過し、9月4日の本戦に出場した。

当日は、市の総合開会式を終了して駆け付けた指導員や後輩の声援を浴びて健闘し、三回戦を闘い、惜しくも三位入賞を逸したが、ベスト4に入賞は立派で称賛に値する。

当市連盟の指導者は、年齢が若く、今後、幾多の大会に出場しながら、育って行くことと思うが、小生達の育てた基礎をしっかりと守り、連盟を盛り立てて行つて欲しいと希望する。(神田)

●柔道連盟

柔道連盟の活動について

9年前、稲城市体育協会の指導により柔道連盟の活動が始まりました。3名の指導者を中心に週2回、総合体育館柔道場で活動しています。身体の発達途中の子供達にとって柔道という競技は、即結果が出るものではないという考えから、礼儀作法を身につけたり、切磋琢磨の稽古で心身共に成長していくことを大切と考え稽古に励んでいます。

す。一年間を通じて試合や行事が多数あり、様々な経験を得ることが出来ます。経験の多い上級生が下級生の世話を焼くアットホームな雰囲気もこの会の特徴です。今年9月には連盟主催の大規模な大会が行われ、近隣から六百名を越す柔道少年・少女が稲城市に集まりました。参加チーム数28という大きな大会となりましたが、団体戦では稲城市柔道連盟が見事優勝し、輝かしい成績を納めることができました。柔道に興味のある方、私達と一緒に汗を流してみませんか?見学も随時受け付けています。▼練習日/毎週水曜日18時40分・土曜日15時40分▼場所/総合体育館柔道場▼連絡先/島津 090・3007・2594 (笠井)

▲昇級審査



人物紹介

空手道連盟

指導者の途を歩む

藤原 忠司君



○第35回東京都選手権に出場組手競技中量級で四位入賞
予選会は6月26日に東京武道

館で開催され、藤原君は当市から、ただ一名の中量級選手として出場した。12名の選手から16名が選ばれ本戦に出場し、藤原君は三回戦を勝ち抜き、9月4日の本大会に駒を進めた。

東京都選手権は団体の選考会を兼ねているので、本大会に出場する選手は、東京都の団体、世界大会の候補選手、あるいは学連の指導者等も含まれている。藤原君は最年少で、キャリアも不十分ながら、健闘し、三位決定戦で惜しくも敗れ、四位となったが、今後の練習によって、大きく成長し、将来の連盟を背負って立つ指導者になることが期待される。

○連盟での経歴

平尾団地に居住する藤原君は、本年9月26日で21才になる。10才の時に、弟の光太郎君(高一)と平尾空手道会に入会し、以来十余年間、週2回程度の練習を絶やさず続けた。ご両親も、その修業を励まし援けるとともに、会員全体の活動を支え、連盟の育成会幹部として活躍されている。現在は、会派役員参段、公認段位は二段であるが、今秋は参段を取得する目標で懸命に励んでいる。毎週土曜日(総合体育館)の初心者教室と、午後の若葉台小体育館の初・中級者教室を助手として励み、火曜日夜は、平尾空手道会の指導者として努める他、水・土曜日の夜は、総合体育館で、他の指導者と共に、自己の鍛錬を含めて稽古に励んでいる。

身長178cm、体重70kgは、現在では平均的な体躯と考えられるが、豊富な練習量から、強靱な体力と、強い意志を併せ持つ好青年で、性格は温厚で明るく、教場の小、中学生や、幼年の会員からも、なつかれ、親しまれている。

21才で都公認指導員、23才で地域スポーツ指導員、25才で東

京都審判員、それに伴う公認段位の取得と、加令と共に、段階を踏んで、公認資格を取得しなければ、公式の指導者として認められない、厳しい空手道会ではあるが、内田先輩に続いて、この道をひたすらに歩むことを期待します。(神田)



▲スポーツ大会開会式

第33回稲城市スポーツ大会開催

4月10日(日)、稲城市総合体育館にて総合開会式が行なわれ、21競技に市民の参加で「体力づくりの輪を広げよう」を合言葉に、熱戦が展開されました。

第37回稲城市民体育大会

大会期間：平成17年9月4日(日)～18年1月



9月4日(日)、稲城市総合グラウンドにて総合開会式が行なわれました。幸い天候に恵まれ、多くのスポーツ選手が勢揃いしました。石川市長や来賓の方々の挨拶、市民憲章唱和など、これからの各競技の熱戦を期待する力強い雰囲気がかもし出されました。

▲市民体育大会開会式

(鈴木選手宣誓)



▲市民体育大会

▶入場行進



▶スポーツ大会



各種大会結果

第58回都民体育大会(春季大会)

開会式 日時:平成17年5月15日(日)
場所:東京体育館
大会期間:平成17年5月5日(木)~6月5日(日)

Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 試合結果 (Match Results). Includes categories like 剣道, サッカー, 弓道, etc.

* 総合順位 男子40位・女子35位

第39回市町村総合体育大会

開会式 日時:平成17年7月24日(日)
場所:町田市民ホール
大会期間:平成17年7月16日(土)・7月31日(日)

Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 試合結果 (Match Results). Includes categories like 剣道, 空手道, 卓球, etc.

平成17年度都民スポレクふれあい大会

大会期間:平成17年9月10日(土)~10月15日(土)

Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 試合結果 (Match Results). Includes categories like ミニテニス, バスケットボール, etc.

平成17年度都民生涯スポーツ大会

大会期間:平成17年8月21日(日)~9月19日(祝)

Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 試合結果 (Match Results). Includes categories like サッカー, ダンススポーツ, ソフトボール, etc.

第59回都民体育大会(夏季大会)

日時:平成17年8月22日(日) 場所:青梅ゴルフ倶楽部

Table with 2 columns: 競技名 (Sport) and 試合結果 (Match Results). Includes category: ゴルフ



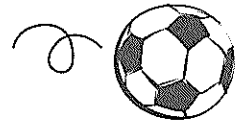
▲都民大会開会式



▲地域振興プラザにて



▲都民体育大会



▲クレイ射撃場にて

第39回市町村総合体育大会 ブロック開催

稲城市総合体育館
稲城中央公園野球場
成田射撃場
今年度の開催ブロックとしての主管競技「バドミントン」、「クレイ射撃」、「軟式野球」の運営に、稲城競技部会が組織され、特に担当連盟の役員も努力もあり当日の競技は特に事故もなく終了出来ました。大変ご苦勞様でした。

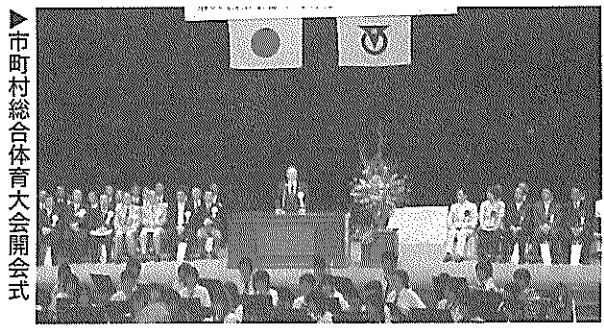
編集後記

今年の市町村体育大会は分散会場での開催ということで、稲城市でも三つの競技を運営しました。また、一部の競技で岡山国体の関東ブロック予選会を実施するなど、多忙な一年でした。スポーツ大会や市民大会も「市民ひとりスポーツ」の名の下に参加者も増え、活況な状況を嬉しく思います。青少年の健全育成、生涯スポーツの観点から多くの市民に参加してもらい、スポーツを大いに楽しみたいものです。

体育協会研修会

体育協会研修会は2月19日(土) 消防署講堂において、「救命手当を学ぶ」コースで普通救命講習を受講、37名が普通救命講習を修了しました。緊急への備えが出来ればと思います。

Table listing the editorial committee members (編集委員) and their roles (相談役).



▲市町村総合体育大会開会式